

NO. 60-9

鋼橋技術研究会

防錆設計技術研究部会

昭和60年度報告書

昭和61年3月

## — 目 次 —

まえがき	2
1. 塗装設備と工場塗装施工管理について	3
2. 溶融亜鉛めっき防食について	4
3. 耐候性鋼材による防錆設計について	6
4. 溶射による防食技術の現状について	9

## — 概 要 —

1. 塗装設備と工場塗装施工管理について  
防錆法として最も多く使用されている塗装について、特に工場塗装とその施工管理がどのように行われているか三菱重工業 横浜製作所を訪問して説明を受け見学を行った。
2. 溶融亜鉛めっき防食について  
溶融亜鉛めっき橋梁は、日本道路公団が主体でここ数年間飛躍的に実施されているので溶融亜鉛めっき作業の現状を認識するため、新星鋼業（株）八千代工場を訪問して説明を受け見学を行った。
3. 耐候性鋼材による防錆設計について  
耐候性鋼材を使用した実施例を中心に、経年後の安定錆発生状況及び耐候性鋼材の使い方と問題点等について意見を交換した。
4. 溶射による防食技術の現状について  
長期防錆法として外国では早くから橋梁にも適用されているが、我が国では“本四指針”にその使用が取り上げられ今後増加の傾向が見込まれている。そこで溶射の機器メーカーと施工者の説明を受けて、問題点及び今後の開発の方向性などについて討論した。